

# 北広島町 定住者の声



▲広島市内から実家のある北広島町本地にUターンした「やまだ農場」の若きオーナー、山田誠さん。20代半ばで新規就農して以来、ご家族に支えられながら日々奮闘されています。(2017年11月取材)

## いつ頃までこちらにいらっしゃったんですか？

高校までです。大学進学で広島市内まで出て、卒業後は3年くらい会社員をしていました。1~2週間単位で沖縄から北海道まで出張して…。すごく忙しかったです。

## 全国を飛び回っていたんですね。忙しそう。

休みは週1回あればいいという感じで、それも移動でつぶれたりしていました。忙しすぎて自分の時間もなくて、どこか満たされないような気もしていました。でも、それはそれで楽しかったんですよ。それがキツくて(会社を)辞めたとかじゃなくて、そういう生き方もあるけど、別の生き方もあるんじゃないかなと。

## 別の会社に転職ではなく、農業を始めようと思われたのは何故ですか？

自分のために時間を使いたいと思って。じゃあ何ができるか？いや、何もできないぞ…って考えて、実家で農業をやったぞ。よし、それをやろう！…って感じです。甘かったです。激甘ですよ。でも、スタートはほんま、それだけでした。

まあ、そんな甘い考えで始めたら、当然、苦労しますよね。一時は、どうにもできんかも…というところまで凹みました。

## ご実家は、もともと農家さんだった？

ふつうの、兼業農家です。田んぼと、産直野菜くらいかな。おばあさんの頃はガッツリ農家でした。

## ご家族など、周りの方には反対されませんでした？

すごくされましたよ。でも、最終的には「あんたがそこまで言うならやってみんさい」と言ってくれて。今は母さんも父さんも手伝ってくれて、家族ぐるみでやっています。ほんまありがたいですね。家に帰って

きたことで、この土地も大丈夫と安心してきてくれると思いたい（笑）。

### 農業のノウハウは、どこで学ばれたんですか？

やりながら、です。師匠はおるんですよ。農業を始めようと思ったとき、いろんなところへ相談に行ったり研修とか見学に行ったりして、いろいろな試行錯誤や苦労をして、気がついたらこうなっていました。

### 途中で投げ出したいと思ったことはありませんでしたか？

投げ出せなかったですね。弱音を吐きたくないし、吐けんかったし。弱音っていう概念がなかったかな。必死でした。本当に濃い3~4年だったなと思います。

### 作っているのは、チンゲン菜でしたっけ。

はい。あと、2年くらい前からベビーリーフも始めました。ぜんぶ葉物です。うちの野菜は、色と味がよく、香りがある、自分でいうのもなんですが、とてもおいしいと思います。



### ビニールハウスは何棟あるんですか？

13棟です。2棟以外は、自分で建てたんですよ。中古のハウスを解体しに行って、持って帰って自分で建てて、増やしていきました。中古だから規格が合わないこともあって大変でしたけど、調べながら必死に建てました。

新しいのを買ってたらもっと楽にできったんですけど、おばあさんの頃からお世話になっとった方が「苦しいけど、全部お前が自分でやれ」って言ってきて。めっちゃ厳しい言葉でしたけど、結果的にハウスも自分で建てられるようになったし、どうしたらキレイに建てられるかも考えながらやったから全部わかるし。いい経験をさせてもらいました。今の自分があるのは、その人のおかげです。



### それにしても、13棟もあつたら面倒を見るのが大変そうですね。

まだまだ増やしたいです。もううちの土地はないので、買うなり借りるなり…どうにかしないといけないんですけどね（笑）。

### もっと増やすんですか。ずいぶん大規模になりますね。

ここで産業を作って、もっといろいろな人が集まるようにしたいんですよ。利益優先ではなく、楽しく働ける職場を作りたいんです。働いてくれる人が楽しいと思える職場にしたい。あとは、お客さんが喜んでくれるのが一番なので、作る野菜のクオリティをもっと上げて、量も安定させたいです。

### 産業、ですか。

あんまり農業という形にとらわれたくないんですよ。農業だからこう、とか先入観にとらわれずに、純粹にここでできる事業や産業は何がいいのかなと考えていきたいです。それが結局農業で、今まで通りかもしれないですけどね（笑）。

ただの「生産活動」だけじゃなく、この仕事を魅力的にしていきたい、というのが原動力です。作物を育ててお金を換えるだけじゃなくて、社会に対して価値を作れるようになれば、悪くないですよ。

### 新たな働き手も受け入れるお考えですか？

ここで働きたい人がいたら、大歓迎です。今は求人を出していませんが、また募集しようと考えてます。ハウスも増やしたいですし。いろんな人が来てくれるようにしたいです。社会保険も完備ですよ！

## いい人材が集まるといいですね。

農業やってるって言うと、「大変だね」「かわいそう」みたいな同情的な反応をされるんですよ。でも、今は種蒔きも予防も、ほとんどの作業は機械化されてるんですよ。農業だからって、汚い、きついと決めつけられたくないですね。

## 1日の流れは、どんな感じなんですか？

今の時期は、8時から10時まで収穫をします。そのあと作業部屋で母やパートさんに荷造りをしてもらっている間に、僕は種を蒔いたり水やりをしたり、ハウスの管理をしたりして、時間が来たら出荷に行きます。それがお昼くらい。午後は、またハウスを建てたり種まきや水やりなどの管理作業ですね。あとは勉強したり、視察に出かけたり。



夏は忙しいですよ。もっと早い時間から作業を始めますし、草刈りとかもありますし。日中は暑くて仕事ができないから、夜作業をしたりとか。

正直、自分が朝から晩までずっと働いても先がないと思うんですよ。それで自分も家族も、ここで働いてくれてる人も、みんながメシを食えたらいいですけど、そうじゃないじゃないですか。責任を負う人間が追われとっちゃいけないと思うんです。事業全体の利益を上げていかなきゃ…と考えてます。



◀ ▲ スグレモノの専用機械を使って  
手際よくチンゲン菜を袋詰め

## 植物を扱うお仕事なので、休めないイメージですが…。

僕は休めないです（笑）。でも働いてもらっている方は自由に働ける環境だと思いますし、大規模なところは、従業員さんに任せて事業主が休みを取ったりもできているみたいですよ。うちも、いずれはそういう風にしていきたいです。「農業は休めんよね」「朝から晩までなんでしょ」とかじゃなくて、「いや、俺は休んでるよ」「けっこう楽にやってるよ」という風に言えるようにしたい。こんな働き方があるんだね、俺もやってみたいなと思ってもらえるような仕事にしていきたいです。

## でも今は、休めてない(笑)。

ですね（笑）。仕事で疲れて帰ってきたら、子どもたちをお風呂に入れて寝かしつけて、一緒にくたばる。で、気付いたら朝、という感じです。大変ですけど、仕事はやっぱり楽しいですよ。

## 家の近くで仕事をして、家族の一員として子供の成長を見守れるのは、素敵な暮らし方ですね。

いちばんいいのは、父親がこうやって仕事をしているんだということを（子供が）見られることですよね。知らないうちに自動的にお金が入ってくるんじゃないくて、こうやって仕事をして、お金を稼いでいるんだというのがわかるから。僕はサラリーマン家庭で育ったから、自営になってから苦労しましたもん。父親が働くようすを見ていたら、将来に対してイメージしやすいんじゃないかな。自分はこのことを勉強しよう、とか。

もうちょっと子供が大きくなったら、「小遣いがほしければ野菜を育てて売れ」と言おうと思ってるんです。資金が必要なら、銀行口座を1つ作って



預けて、どうやったら売れるかを考えながらやってみろ、と。将来は、いい会社に入るだけじゃなく、いろいろな選択肢を持ってスケール大きく生きていってほしいです。

### **山田さんご自身にとっては、農業が天職のようですね。**

天職って、見つけるものじゃなく自分で作るものだと思うんです。農業を甘く見ていたり、マイナスにとらえてしまっていた時期もありましたけど、腐らずに前を向いてやってきたことには誇りを持っているので、これからも自分なりにやっていこうと考えています。

自分一人の力ではできないこともたくさんありますし、農業だけをしているのもつまらないので、いろんな人と関わって、みんながワクワクするようなことをしたいです。それができるだけ自分になっていかなきゃいけないとも思います。

最初のきっかけは何でもいいから、とにかくやってみることだと思います。行動して反省して…を繰り返すことで徐々に本物に近づいていくものだと思うので、これから移住する人にも、それは伝えたいです。



愛娘の千尋ちゃんと、ベビーリーフのハウスにて

▲山田 誠（やまだ まこと）さん 30代  
祥子（しょうこ）さん 30代  
佳（けい）くん 2歳  
千尋（ちひろ）ちゃん 5ヶ月  
移居前：広島市  
現住所：北広島町本地（千代田）  
移住年月：平成23年8月